



▲女子形の部で4回戦まで進出した
浦添高校の風間結木選手

空手道



▼男子形の部で見事優勝した興南高校の上村拓也選手



ハンドボール



▲3回戦まで進出した那覇西高校

▼昨年の高校総体で優勝した興南高校は、準々決勝に進出しましたが、
激闘の末、惜しくも敗退しました。



美ら島沖縄 総体2010

青天名君の風
かきえる闘志が
夏に輝く



▲審判や来賓を接待する接待係



▲勝敗の結果を伝える記録報道係



▲炎天下で作業する交通整理・駐車場誘導係

平成22年度全国高等学校総合体育大会として「美ら島沖縄総体2010」が県内各地で開催され、浦添市はハンドボール競技(8/1～8/6)と空手道競技(8/9～8/11)の開催地となりました。県代表チームとして、市内から陽明高校(ハンドボール女子)と浦添高校(空手道女子)が出場し健闘しました。また、男子ハンドボール競技では、県代表の興南高校、那覇西高校に浦添市内の中学校を卒業した生徒が多数出場し、全国から集まった強豪チームと熱戦を繰り広げました。高校総体では、選手だけでなく開催県の高校生がボランティアとして数多く参加しています。今回も県内の高校生らボランティアが活躍し、大会の成功に大きな役割を果たしました。



▲3回戦でシュートを放つ陽明高校の東里麻希選手

救護係

8月4～6日の3日間、救護係を務めました。選手、観客共にけががなく、無事終了してホッとしました。



新垣 恵美子
浦添工業高校
養護教諭

受付係

大会期間中、交代しながら朝8時から夜8時まで受付係を担当しました。来賓の方の案内や、場所などを尋ねられたときの対応が難しく大変でした。



嘉数 波紀
昭和薬科大
附属高校2年

弁当係

注文したものと届いたものが間違っていないかを確認し、選手に受け渡すまでが大変でした。手が空いた時は荷物運び等の応援も行いました。



與儀 達真
陽明高校2年

ボランティア コメント紹介



▲記録写真・ビデオ撮影も高校生が行いました。



▲コート係は選手が滑らないよう、試合中は何度も床を拭きます。



▲サンプリング係は選手らに飲み物を提供します。